

氏名	善生 まり子	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	老年看護学 地域看護学				
学位	博士(看護学)				
学歴	1991年北里大学看護学部、1999年北里大学大学院 看護学研究科 修士課程(健康看護学)、2017年北里大学大学院 看護学研究科 博士後期課程(看護生涯教育学)				
経歴	1991年学校法人北里研究所北里大学東病院消化器外科(看護師)、1992年富士宮市役所保健センター(保健師)、1996年秋田市医師会立秋田看護学校(専任教員)、1997年秋田大学医療技術短期大学部看護学科(助手)、1999年学校法人北里研究所北里大学東病院 治験管理センター(看護師:非常勤)、保健同人社 電話相談(保健師:非常勤)、2001年公立大学法人埼玉県立大学 保健医療福祉学部看護学科(助手)、2005年同大学(講師)、2014年同大学(准教授)				
所属学会(役職)	日本看護科学学会、日本看護研究学会、日本在宅ケア学会、日本老年看護学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会、日本認知症ケア学会、日本保健医療福祉連携教育学会、日本看護学教育学会、日本看護学会				

### 【2017年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	外来・地域におけるフレイル対策 Part 1 フレイル高齢者を地域で支える	単著	看護技術、63(13)、1320-1322	善生まり子	メディカルフレンド社・2017.11
(2) 論文					
1	高齢者のフレイル予防:ヘルスリテラシーに着目したIPW支援プロジェクト	共著	地域ケアリング、19(8)70-72	善生まり子, 藤縄理, 久保田亮, 菅野康二, 戸田肇, 中村裕美, 菊本東陽, 小原弘子, 森鍵祐子, 黒田真由美	北隆館・2017.7
(3) 学会発表					
1	骨粗鬆症と転倒の予防教室参加者と非参加者の骨密度と体力およびQOLの比較	共著	第19回日本骨粗鬆症学会、大阪市	○藤縄理、菊本東陽、須永康代、村田健児、内山真理、善生まり子、萱場一則、廣瀬圭子、遠藤直人	2017.9
2	地域在住高齢者の骨密度・体力・QOLおよび食事内容の検討	共著	第52回日本理学療法学会大会	○藤縄理、菊本東陽、須永康代、村田健児、善生まり子、内山真理、萱場一則、廣瀬圭子、遠藤直人	2017.4
(4) その他					
1	看護技術11月号 第2特集「外来・地域におけるフレイル対策」の編集			善生まり子	メディカルフレンド社・2017.11
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別			研究期間
1	科研費基盤研究(C)	フレイル予防に資する地域高齢者ヘルスリテラシー促進の様相:IPW支援プロジェクト、研究代表者			2016.4~2019.3(予定)
2	平成27、28、29年度埼玉県立大学奨励研究:学長プロジェクト	住民主体の骨粗鬆症と転倒の予防教室に対する行政と連携した支援の短期的効果と長期的効果の検討、研究分担者			2016.4~2018.3
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					
1	スタートアップセミナー	2017.4~2017.7	新入学生の基本的な学習体験を通して、学部教育で獲得するべき知識と技能に対する学習意欲を高められるよう授業に臨んだ。		

2	老年看護学Ⅰ(総論)	2017.10-11	科目担当者として、主に学生の学習進度を見極め、その成果をはかる試験監督の補助を担当した。	
3	老年看護学Ⅲ(高齢者と地域)	2018.1	科目責任者として、老年看護学実習Ⅱの体験のリフレクションを通して地域包括ケアシステム下における看護職の役割を教授した。	
(2) 演習				
1	老年看護学Ⅱ(高齢者と家族)	2017.4~2017.7	科目担当者として、看護過程の展開のグループワーク、講義、実技演習に関わった。	
2	IPW演習	2017.10~2018.2	科目担当者として、多学科3年生とコミュニケーションを図ることで学習進度を理解しながら、IPWの目的・目標、プロセスにそって指導や助言を行った。	
(3) 実習				
1	老年看護学実習Ⅰ	2017.4~2017.6	科目担当者として、老人福祉センターにて、学生が健康・元気な高齢者の対象特性を理解し、コミュニケーションがとれるよう指導した。	
2	老年看護学実習Ⅱ	2017.10~2017.12	科目担当者として、回復期リハビリテーション病棟に入院している高齢患者や看護の特性が理解し実践できるよう臨地実習指導者と共に指導した。	
3	総合実習	2017.4~2017.8	小児から高齢者、外来から訪問診療、訪問リハビリテーション、訪問看護、健康教室等多機能な診療所で実習が円滑にできるよう学習環境を整えた。	
(4) 論文指導				
1	卒業研究	2017.4~2018.1	学生5名を指導した。全員、基礎研究力をつけるため、研究フィールドを設け、研究計画書を倫理委員会へ提出し調査する等のプロセスを重視した。	
2	病院看護師が取組む調査研究への助言・指導	2018.1~2018.3	医療法人社団協友会メディカルトピア草加病院 看護研究指導(3件)を行った。	
(5) その他				
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会等の講師				
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ	開催年月
1	平成29年度看護学生実習指導者講習会	公益社団法人埼玉県看護協会埼玉県看護協会	老年看護学実習の展開	2017.6
2	平成29年度介護支援専門員研修会	社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会	ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の実践	2017.7
3	平成29年度さいたま市地域包括支援センター職員研修Ⅱテーマ「介護予防の推進」	社会福祉法人さいたま市社会福祉協議会	高齢者の体とフレイルについての基礎講座	2017.8
4	平成29年度一般財団法人医療・福祉・環境経営支援機構「埼玉」交流会	一般財団法人医療・福祉・環境経営支援機構 全国協議会	在宅移行期の生活を円滑にするための退院支援～療養先の決定に揺れる現場と看護職のコーディネート力～	2017.10
5	WEB講座 第10回「市民参加による、学生の豊かな人間性を育む大学教育」	埼玉県立大学	看護学生の元気な高齢者の健康観や保健行動への学びを深める教育の場 ―骨粗鬆症と転倒予防の自主グループ活動への参加と卒業研究―	2018.2
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等				
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期	
1	社会福祉法人インクルふじ生活介護事業所であら〜と(静岡県富士市)	第三者評価委員	2003.6~2018.3	

2	北里大学同窓会埼玉県支部(さいたま市)	理事(看護学部)	2015.4~2018.3
(3)ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
5. 学内運営(委員会委員)			
1	該当なし		
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	学位取得:博士(看護学)H30.3.10付		
2	合同会社アガピ(重度訪問介護、介護保険、喀痰吸引など、難病者や障害者の生活支援)職員との交流:越谷市内		
3	埼玉県立大学産学連携と研究シーズ新規作成「若者の健康を支え・守る担い手としてのシニア世代のフレイル予防やヘルスリテラシーを促すプログラムの提案～人にやさしい社会を考える～」		
4	学科内担当業務:ヒューマンケア実習室担当、総務委員、1年担任		
5	平成29年度さいたま市民医療センター 第2回臨地実習調整会参加(場所:さいたま市民医療センター)・当番校		
6	平成29年度老年看護学実習指導者会(埼玉県立大学)参加		